

令和6年度第4回芽室町総合計画審議会 議事録

令和6年9月11日（水）18:30～19:30

芽室町役場 2階会議室7・8

■出席委員（10名）

貫田会長、廣江副会長、太田副会長、岩野委員、江口委員、小池委員、白銀委員、鈴木委員、花岡委員、林委員

■欠席委員（5名）

岡田委員、黒田委員、竹澤委員、小林（義）委員、棚瀬委員

■事務局

有澤政策推進課長、大石政策調整係長、佐藤主任

■オブザーバー

十勝総合振興局地域創生部地域政策課 石山課長

■説明員

我妻農林課長、仲野商工労政課長、西田魅力創造課長、佐藤都市経営課長補佐兼都市経営係長、山田都市経営係主査、森健康福祉課長、佐々木子育て支援課長、山田子育て支援課長補佐兼児童係長、喜多子育て支援係長、佐々木総務課長、久保高齢者支援課長、坂口教育推進課長、江崎生涯学習課長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和6年度第4回総合計画審議会を開会します。本日は芽室町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る戦略施策評価であり、オブザーバーとして十勝総合振興局地域創生部地域政策課長の石山様に参加いただいております。どうぞよろしく願いいたします。それでは開会にあたり、会長より挨拶をお願いします。

会長

本日は芽室町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく戦略施策評価である。限られた時間ではあるが、活発な議論の場としたい。本日もよろしく願いします。

■2（1）調査事項 2023年度戦略施策評価について〈資料1〉

①産業活性化プロジェクト

事務局

担当課評価、庁内評価について説明。

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

農業生産額363億円は史上最高に近いが、資材の高騰等数値だけは測れない部分もある。農業の現場は労働力不足があり、今後は耕作放棄地の発生も危惧している。芽室町は農家の規模拡大意欲があるものの、町も新規就農や第三者継承について対応いただいている状況である。C評価は妥当であると思う。

委員

成果指標③（工業団地企業数）の目標数は284社であるが、今後減ることも見込んでいるのか。

また、成果指標③は成果指標②（製造品出荷額等）との関係はあるのか。

仲野商工労政課長

計画策定時の目標であり、2024年度も現状維持の見込みである。

製造品出荷額は企業数に比例するものではない。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

（異議なし）

評価：C

②雇用促進プロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

庁内評価同様にC評価で良いと思う。起業セミナーも実績は上がってきている。また、障がい者への就労支援やバックアップ体制も進んでいる。また、国等の取組とリンクして進めていると思う。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

（異議なし）

評価：C

③定住促進プロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

庁内評価同様にC評価で良いと思う。

委員

定住対策について、人を呼び込む対象エリア（帯広市・管内・札幌市・本州など）はどこなのか。

西田魅力創造課長

定住の定義は決まっていない。ただ、転勤など仕事の都合で今芽室町内に賃貸に住んでいる人についても、今後家を建てることでずっと芽室に住み続ける定住に繋がるものだと思う。管内市町村との人口の取り合いは考えていないが、引き続き住みやすい町を目指していく。

委員

本州から定住するような策を練っていただきたい。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

（異議なし）

評価：C

④関係人口創出プロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

成果指標から庁内評価同様にB評価で良いと思う。

委員

ふるさと納税について、寄附件数増加の要因は把握しているか。

西田魅力創造課長

リピーターに繋がる、手軽に購入しやすい単価の安い商品を増やしたことによる増加と捉えている。まずは芽室町を知ってもらう、みてもらうことが大事であると考えている。

委員

施策の達成状況欄に記載のある「官民の新たな動きの創出」とあるが、どのように期待しているのか。

西田魅力創造課長

官民連携について、今では民が主導でイベントやチャレンジショップを実施しており、関わる人数が増えている状況である。

委員

シティプロモーションは見える化を課題としてるが、具体的な方策はあるのか。

西田魅力創造課長

シティプロモーションの成果は見えにくいもの。役場や一部の町民だけで行うことではなく、町民全体で行うことで成果向上にも繋がっていくため、もっと多くの方に分かっていたいただくための見える化が必要だと感じている。具体的な方策として、ふるさと納税がわかりやすく、令和3年度では1億円弱であったものの、令和5年度は4億5千万を超えた。この成果はスイートコーンが大きく返礼品として選ばれ、あるサイトではすべての野菜部門の中で1位になった。このことも町民に知ってもらい、郷土愛につなげていきたい。

委員

芽室文芸をふるさと納税の副次品として採用し、郷土愛醸成に繋がったと思う。単なる返礼品競争ではなく、多くの人と芽室町が繋がることを大事にして進めてほしい。評価もB評価で良いと思う。

会長

評価に移る。B評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：B

⑤観光振興プロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

新嵐山の休業は非常に残念だった。宿舎の経営だけではなく、スキー場の経営が同時に止まったことも残念であった。一つ一つ新たにやり直していただきたい。

委員

観光振興は新嵐山だけが全てではない。日高山脈の国立公園化など嬉しい話題もあり、E評価ではないのかとも思う。

会長

評価に移る。E評価ではないのではという意見もあったが、庁内評価同様にE評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：E

⑥安心子育てプロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

庁内評価同様にC評価で良いと思う。待機児童と関連するが、保育施設に預ける子どもは0歳児の需要が多くなっている。早く預けないと保育所に入れないという実態はあるのか。

山田子育て支援課長補佐兼児童係長

待機児童は0人であり、保育施設の入所は随時受け入れている状況。ただ、毎年10月に翌年度入所に関する一斉募集があり、希望する保育施設に入所するためにはこの機会が入りやすい。しかし、希望する保育施設が空いていない場合、育休を延長するという保護者がいることは把握している。

委員

成果指標②（不妊治療費助成件数）は伸びてきているが、それに合わせて出生数も増え

てきているのか。また、事務事業全体の振り返り欄に相談体制の強化とあるが、どういう内容なのか。

佐々木子育て支援課長

2020年度から従前の特定不妊治療の助成に加え、一般不妊治療を含めたことにより助成件数は上がった。結果として子どもを授かった方もいるが、全員がそうではない。本町でも年間の出生数は100人を下回っており、少子化の状況。相談支援体制の強化とは、助産師、保健師、管理栄養士等で連携しながら相談に対応している。

委員

相談件数は把握しているか。

佐々木子育て支援課長

2023年度は93件、2022年度は99件、2021年度は103件、2020年度は99件、2019年度は108件である。

委員

出生数は過去最大で300人ほどいたかと思う。

佐々木子育て支援課長

平成20年頃に200人を越えたところがピークで、年々減少している。

委員

成果指標②（不妊治療費助成件数）の件数が増えていることは施策の成果向上となるのか。

佐々木子育て支援課長

この施策は出生数を成果としているわけではなく、父母や保護者が安心して子育てできる環境づくりや若い夫婦の希望を叶えることが成果である。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

（異議なし）

評価：C

⑦安心生活プロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

担当課評価C評価について、成果指標からは測れないがどういう取組内容から評価したのか伺いたい。

有澤政策推進課長

成果指標は目標値を達成していないが、町民活動支援センターの設置など施策の方針に沿って様々な取組をしている。町民全体でまちづくりを行う仕掛けは行ってきたことから前進したと評価した。

委員

目標達成見込みは難しいと記載があるが、その理由を伺いたい。

有澤政策推進課長

総合戦略は令和6年度までの計画期間となっていることから、あと1年で成果指標の目標達成は難しいと判断した。

委員

障がい者を会計年度任用職員として採用しているが、障がい者の雇用率とリンクしているのか。

有澤政策推進課長

法定雇用率は職員の中で達成しており、リンクしていない。職場実習制度を町独自で作っており、広報誌の発送作業など様々な仕事を担っていただいている。

委員

町内会未加入者を強化すべきと意見があるが、どう対応していくべきか。先日から町長をオブザーバーとして参加いただいた上、町内会連合会と町内会長で座談会を実施した。引き続きこのような取組があれば良いと思う。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑧輝くまちづくりプロジェクト

会長

この戦略施策について、評価意見はあるか。

委員

C評価だと思う。成果指標①（ジモト大学への参加者数）の2023年度実績が184人と目標値10人を大幅に上回っている。魅力創造課と連携しながら進めており、良い取組だと思う。

委員

C評価だと思う。今後の取組に対してであるが、少子化に伴い学校1クラスあたりの人数は減っていく。学校の必要とする規模は縮小していくことと思うが、今後配置はどのように考えているのか。

坂口教育推進課長

子どもの出生数は減り続けている状況であることは認識している。教育委員会において学校配置計画を策定しているが、現計画は令和8年度までの計画であり、現在、次の計画策定への準備をしているところ。子どもが減り続けることから学校が1つで良いということにはならないと思うが、地域と連携しながら検討して進めていく。

委員

子どもの数が減っていくことから、地域みんなで子どもを育てていく観点が必要。コミュニティスクールを徹底的に進めていただきたい。まちづくりはひとつづくりである。引き続き各課の連携を進めていただきたい。

江崎生涯学習課長

子ども会の数も減っているが、その上には町内会がある。子ども達が元気だと町も活性化してくると思う。子どもに関することであり横断的に進めていきたい。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

（異議なし）

評価：C

■ 3 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。それではオブザーバーとして参加された十勝総合振興局地域創生部地域政策課長の石山様より感想をいただく。

石山十勝総合振興局地域創生部地域政策課長

本日の総合計画審議会は、地域の声を聞ける貴重な場であり、オブザーバーとして参加させていただき感謝している。事前に資料を拝読したが、非常にしっかり評価、振り返りしている印象。人口減少に関しては、道内14振興局中、十勝管内は3番目に人口減少が低い状況。芽室町の人口減少率は0.4%であり、減少率の低い十勝管内の中でもトップである。この結果は本日の会議も寄与していることと思う。次期総合戦略の計画の策定においても、皆さんの意見を聞きながら進めていただき、良い計画にしていきたい。

会長

石山様ありがとうございました。

それでは今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いする。

事務局

次回審議会は11月下旬を予定しており、時期が近くなったらお知らせする。

会長

今の説明や全体に関して何か質問や意見はあるか。

■ 4 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。お疲れ様でした。

(19:30)